

全身の運動能力と想像力を存分に発揮して、楽しく遊びながら3歳児の能力を発達させる

15の楽しいあそびが、能力と知的好奇心を伸ばします。

幼稚園教育要領5領域にそった一斉保育指導案です。

1、新しい世界を発見する(環境・言葉)

子どもが、教材を自由に扱い、新しい世界を自分で発見できる活動です。

2、仲間とかかわり合う(健康・言葉・人間関係)

保育者や仲間とかかわり合い、決まりに気づき、みんなで楽しく遊ぶ活動です。

3、挑戦できて自立心を養う(人間関係・表現)

子どもが、さらに難しいことにも挑戦できて自信を深める活動です。

シルエットやブロックを使って、思考を働かせ、形態の認知力と構成力を育みます

「間違っている」と思っても、子どもの素直な思いを「言葉」として引き出していくことが大切です。



理事長・園長
伊藤徳久先生

3歳になると、好奇心や探索欲がますます強まり、子どもはいろいろ考えたり工夫したりしながら遊ぶ中で、新しいことも自分で発見していきます。空想と現実を自由に行ったり来たりできるのが幼児期ですから、大人から見て「間違っている」と思っても、子どもによって答えが違っていてもいいのです。子どもが教材を操作して、素直な思いを「言葉」として引き出していくことが大切です。

その子の思いが言葉として出てくれば、それが「正解」ではないかと思えます。だから、「発表する」という活動ができるのもこの教材の良さです。人前で発表できるのはすごい能力です。幼稚園の時からそれを続けていけば、コミュニケーション力もどんどん身についていくと思います。

その基本になるのが「あいさつ」ですね。年少児も、自分から「おはようございます」「こんにちは」というあいさつが元気よくできるようになります。お互いが表情を見ながらあいさつを交わすことで思考能力も磨かれていくでしょう。「言葉の発達」は、あいさつからだと思えます。



一緒に遊び、行動することで関わりが生まれ、思考が発達する

思考というのは内的なコミュニケーションで、頭の中の自分と頭の中の他人とがやりあいます。子どもはそれがいきなりできるわけじゃないので、かならず他者がいて一緒に遊びながら、生活しながら行動する。それが思考の発達を促していきます。

しかも幼稚園にはいろんな子どもがいますから相手に応じて対応が違ってきて、自分が考えても

みなかったことが相手によって気づかされることもあるでしょうし、相手が自分の考えをくみ取ってくれる場合もあるわけです。子どもの発想がそこで表現されるわけですから、いろんな答えがあっているのです。(ぴあじゅ〜る4号・滝澤武久より)



3歳児のからだところを培う 年間保育指導

期	4~6月				7~9月			10~12月				1~3月			
ねらい	●身体運動しながら、保育者や友達に親しみを持つ。 ●保育者の話に興味を持って、聞くことができる。 ●手を使って遊び、操作的思考の基礎を育む。 ●共通の課題に取り組み、仲間とあそびの世界を広げていく。				●自分で操作して想像や考えを言葉に表す。 ●十分に身体を動かして運動機能を伸ばす。 ●大小のちがいを判断して表現する。			●図形や具体物の形に触れて造形や描画を楽しむ。 ●共通の課題とルールに仲間と取り組み活動する。 ●外あそびをして、観察力を養う。				●年齢までの数に親しみ、数の概念を形成する。 ●さまざまな図形と空間を認識して概念を育む。 ●語彙を増やし、思考力の基礎と自立心を養う。			
単元名	① まねっこあそび1	② かげえあそび	③ さわってあてっこ1	④ かたちをつくらう1	⑤ ぐー ちょき ぱー	⑥ おやつをあげよう	⑦ おおきいおと ちいさいおと	⑧ ねんどあそび	⑨ しるえっとくいず	⑩ すたんぶあそび	⑪ かげとあそぼう	⑫ いち に さんし	⑬ ひもあそび	⑭ おかたづけ	⑮ おしえてあげよう
指導テーマ	●自分の身体像の認識	●操作的思考の基礎	●形態認知 ●推論	●形態認知力 ●構成力	●対応操作 ●形態認識 ●発表力	●分類力 ●弁別力 ●身体活動	●大小関係 ●表現あそび	●図形認識 ●造形活動	●形態認識 ●対応操作 ●自己修正	●対応操作 ●形態認知 ●コラージュ ●描画活動	●身体認識 ●観察 ●関係づけ	●4の合成分解 ●数のしくみ	●曲線図形 ●開閉概念 ●内外概念	●方向と位置確認 ●有能感	●言葉 ●自立 ●思考力の基礎
使用教材	にんぎょうあそび	えかーどあそび かたちあそび	かたちあそび えかーどあそび	ぶろっくあそび えかーどあそび	かたちあそび	ぶろっくあそび	ずけいあそび	ずけいあそび	えかーどあそび	かたちあそび えかーどあそび	にんぎょうあそび	ぶろっくあそび えかーどあそび	ずけいかーど	えかーどあそび	全教材

滝澤武久 (1931-2015)
東京大学大学院修了
発達心理学・教育心理学者
J・ピアジェ研究第一人者
日本幼年教育会元理事長
叙正四位

